

## 県立郡山高等学校

教科名等：公民科「現代社会」

単元(題材)名：豊かな生活を目指して

学 年：第1学年

### 実施状況

世界経済フォーラムが発表している「男女平等指数ランキング」を紹介し、経済面・政治面・教育面から男女格差にかかわる資料を読みとらせた。そこで、日本が男女格差の大きい国であることを認識させ、「男女平等指数ランキングをトップ10入りさせる方法を考えよう」というテーマを掲げグループ学習（6人～7人の班 6班）を実施した。（グループ＝政党とし、自分たちが政治家だったらどのような政策を展開するか、マニフェストを考えさせた。）その際、多くの生徒の意見を反映させ、それぞれの意見を尊重しながら課題解決に迫らせることで自己存在感や協働の喜びを味わわせたいと考え、KJ法を取り入れた。

### 児童・生徒の感想

- ・ 今回の授業にとっても興味がありました。それは、自分の就きたい職業も男性がほとんどの仕事だからです。女性も男性と同じように仕事に対する意欲や能力を持っています。私は女性と男性のよい能力を組み合わせれば何だって良くなると思います。
- ・ 今回の授業で男女共同参画社会の実現のためにみんなでマニフェストを考えたり、どうすればよいのか考えることによって、これからの社会で大切なことは、どれだけ男女が互いを尊重しあい、よい関係を築いていけるかが大切だと思いました。
- ・ 授業の内容は自分たちで政党を作ったり、たくさん意見を書いたりなど斬新な授業で楽しかったです。いつもはあまり意見が言えない人もたくさん紙に意見を出せたのがすごく良い授業だなあと感じました。
- ・ 今まで男女の格差は仕方がないことだと思っていましたが、やはり、仕方がないことではなくこれから私たちが改善していかなければいけないことだと思いました。

### 参観者の感想

- ・ 生徒が生き生きと授業に取り組んでおり、積極的に意見を出し合っていたと思います。ただ、もう少し時間が取れるとよかったのではないかと感じました。
- ・ クラス全員が積極的に授業に参加しており、その熱気に圧倒されました。グループディスカッションやKJ法は周知な計画や準備が必要なので遠慮しがちだったのですが、今回の授業を参観してこのように生徒が生き生きと取り組めるのなら自分も挑戦してみたいと思いました。
- ・ 先生がひとりで授業を進めるのではなく、生徒がきちんと授業に参加してディスカッションしているのが印象的でした。友人たちと話し合いながら自分たちで答えを見つけていくうちに自然と知識が身についているように思います。

### 指導者の感想

生徒たちの感想の中に、「日本は豊かな国であり男女格差が比較的少ない国であると考えていたが、現実を知りショックを受けた。」というものがあつた。実際に政治・経済・教育の面から他国と比較し、日本の現状を知った上で問題解決学習に取り組めたことは、男女共同参画社会に関する価値の再構築をはかるのに有効であった。さらにKJ法を用いたことで、身近な課題に対して生徒が自分の意見を持ち、さらに他の意見を尊重しながら、自分達に何ができるのかを考えさせることができた。今後も生徒の意見を積極的に取り入れる授業を展開し、真の意味での「豊かさ」について生徒たちとともに考えていきたい。